

主催者 各位

### 京都市北文化会館のご利用について

京都市北文化会館をご利用になられる主催者様におかれましては、以下の内容にご留意いただき、新型コロナウイルス感染拡大防止対策へのご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、この取扱いは、今後の感染の動向のほか、政府等の対処方針の変更により、適宜改定を行います。

利用日時点の取扱いが適用されますので、あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

**※基本的な感染拡大防止対策として、関係者、来場者等に周知、対策の徹底をお願いいたします。**

① 施設内でのマスクの着用

◆ マスク使用時には鼻にフィットさせたしっかりとした着用を徹底し、できるだけフィルター性能の高い不織布マスクを使用してください。

なお、病気や障害により、マスクの着用等が困難な来場者への対応については、国や自治体等の対応指針等に沿って適切に対応してください。

② 洗面スペースなどでのマスクを外しての会話は避けてください。

③ 手指の消毒や手洗いの励行

④ 大声を出さないこと、咳エチケットの励行

⑤ 相互の社会的距離の確保

⑥ 常時換気の徹底（来場者を除く。）

⑦ 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限（水分補給を除く。）

⑧ 平熱と比べて高い発熱がある方や次の症状等に該当する方は、来館しないでください。

◆ 咳、喉の痛み、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害などの症状

◆ 陽性とされた者との濃厚接触がある場合

⑨ 利用の際に出たゴミは、お持ち帰りください。

### ホールのご利用について

#### 1 客席の収容定員

①来場者による大声での歓声、声援、唱和等がない催物については、必要となる感染防止対策を総合的に講じたうえで、収容定員までの配席数でご利用いただけます。

**【405席】**

②大声での歓声、声援、唱和等が想定される催物については、正しいマスク着用と発声抑制の周知及び主催者による個別注意など、必要となる感染防止策を講じたうえで、収容定員の50%以内でのご利用となります。

**【202席】**

#### 2 舞台上（練習利用含む。）

①その表現形態に応じて、演者間で一定の距離を取るなど、可能な限り感染防止に努めてください。

②客席の最前列席は、演者から一定の距離を取ってください。（水平距離で概ね2m程度を確保するよう努めてください。）

③緞帳前を使用しての演出については、演者から客席の最前列まで一定の距離を取ってください。

(水平距離で概ね2m程度を確保するよう努めてください。)

- ④感染リスクが高まるような演出（声援を求めるなど）は控えてください。
- ⑤仕込み・リハーサル・撤去において余裕あるスケジュールを設定し、密な空間の防止に努めてください。
- ⑥舞台袖、舞台裏、楽屋等の狭いスペースでの待機時など、マスクを外しての会話は控えてください。
- ⑦表現上困難な場合を除き、施設内ではマスクの着用をお願いいたします。
- ⑧その他、稽古や仕込み・撤去等においても、十分な感染防止策をお願いいたします。
- ⑨当日、入館直前に関係者等の検温（検温器は、主催者側でご用意ください。）を行い、平熱と比べて高い発熱がある方には自宅待機等の対応をお願いいたします。

### 3 楽屋・控室

- ①通常の利用定員の2分の1以内でのご利用となります。

楽屋1号	楽屋2号	楽屋3号	主催者控室
5名	6名	5名	2名

- ②大声での発声、歌唱、管楽器等による音出しは行わないでください。
- ③施設内ではマスクの着用をお願いいたします。
- ④近接した距離での長時間の会話は避けてください。

### 4 親子室

- ①利用禁止

### 5 来場者等

- ①入場口付近で来場者の検温を行い、平熱と比べて高い発熱がある方にはご入場をお断りください。
- ②客席内ではマスク着用を基本とし、未着用の来場者に対しては配布（主催者側でご用意ください。）や販売、個別に注意等を行うことにより着用を徹底してください。
- ③来場者の案内や誘導に際しては、密が発生しない程度の間隔を取ってください。
- ④休憩時間や入退場時間は、会場の収容人数や入退場経路等を考慮し、余裕ある時間を設定してください。
- ⑤休憩時間や入退場時には会話抑制を周知するとともに、ロビー等での近距離における対面での長時間の会話や滞留を抑制するように来場者にご周知ください。
- ⑥入退場時の密集回避のため、時間差の入退場や導線の確保、人員の配置等を行うことにより、密が発生しない程度の間隔を保持してください。
- ⑦大声を出す方がいた場合（収容定員までの配席数に限る。）は、個別に注意等を行ってください。
- ⑧入場時のチケットもぎり等を担当する方は、適宜手指消毒を徹底してください。
- ⑨チラシ、パンフレット、アンケート等は据置きとし、来場者が自ら取得するか、手渡しの場合には担当する方は、適宜手指消毒を徹底してください。
- ⑩催物後の面会など、演者、催物関係者と来場者の接触は控えてください。
- ⑪来場者、演者、催物関係者など、それぞれの立入り可能エリアを限定（来場者が楽屋エリア等に立ち入ることなどを制限）してください。
- ⑫来場者と接する窓口（招待受付、当日券窓口）等では、アクリル板等（主催者側でご用意ください。）の間仕切りを設置してください。また、係員は、マスクを着用してください。

## 創造活動室のご利用について

### 1 収容定員

①大声での発声等（大声での発声、唱和、歌唱、合唱、管楽器の演奏等）が伴わない利用で、感染防止対策を総合的に講じたうえで、収容定員の100%以内でご利用いただけます。

（例）ピアノ発表会、講演会等

【最大 合計120名】

②大きな発声等（大声での発声、唱和、歌唱、合唱、管楽器の演奏等）を伴う利用は、収容定員の50%以内でのご利用となります。

（例）演者（声楽、独唱等）を含む公演

ピアノ発表等で来場者が唱和

合唱練習、楽器練習等（管楽器有り）

【最大 合計60名】

### 2 練習、本番利用

①表現上困難な場合を除き、施設内ではマスクの着用をお願いいたします。

②演者（利用者）間には、感染防止の観点から密が発生しない程度の間隔を確保してください。

③休憩時間や入退場時には会話抑制を周知するとともに、ロビー等での近距離における対面での長時間の会話や滞留を抑制するように利用者等に周知をお願いいたします。

④近接した距離での長時間の会話は避けてください。

⑤仕込み・リハーサル・撤去において余裕あるスケジュールを設定し、密な空間の防止に努めてください。

⑥その他、稽古や仕込み・撤去等において、十分な感染防止策をお願いいたします。

⑦控室は、密にならないように調整してください。

⑧当日、施設内外で来場者、利用者、関係者等の検温を行い、平熱と比べて高い発熱がある方には入場、又は入館をお断りください。

### 3 客席、ステージを設けての利用

①客席内ではマスク着用を基本とし、未着用の来場者に対しては配布（主催者側でご用意ください。）や販売、個別に注意等を行うことにより着用を徹底してください。

②客席内において、大声での発声、歌唱や声援を伴う利用は、席の間隔は密が発生しない程度の間隔を空けて椅子を設置してください。

③特定の範囲をステージとして使用し、客席を設ける場合は、ステージと客席との間隔は概ね2m程度空けてください。

④感染リスクが高まるような演出（声援を求めるなど）は行わないでください。

⑤演者同士の間隔は、密が発生しない程度の間隔を空けてください。

⑥舞台袖、舞台裏、控室等の狭いスペースでの待機時など、マスクを外しての会話は避けてください。

⑦チラシ、パンフレット、アンケート等は据置きとし、来場者が自ら取得するか、手渡しの場合には担当する方は、適宜手指消毒を徹底してください。

## リハーサル室、会議室、和室、保育・休養室のご利用について

### 1 利用定員

#### (1) 和室

①窓を開けての自然換気等、必要となる感染防止対策を総合的に講じたうえで、通常の利用定員以

内でご利用いただけます。

和室A	和室B
10名	10名

②窓を開けての自然換気等、必要となる感染防止対策が担保できない場合、通常の利用定員の2分の1以内でのご利用となります。

和室A	和室B
5名	5名

(2) リハーサル室、会議室は、通常の利用定員の2分の1以内でのご利用となります。

リハーサル室	第1会議室	第2会議室	第3会議室	第4会議室
6名	15名	12名	9名	15名

(3) 保育・休養室は、窓を開けての自然換気等、必要となる感染防止対策を総合的に講じたうえで、利用者間で密が発生しない程度の間隔を空けてのご利用となります。

## 2 利用に当たって

- ①利用者間で密が発生しない程度の間隔を確保してください。
- ②近接した距離での長時間の会話は避けてください。
- ③当日、施設内外で利用者、関係者等の検温（検温器は、主催者側でご用意ください。）を行い、平熱と比べて高い発熱がある方には自宅待機等の対応をお願いいたします。
- ④表現上困難な場合を除き、施設内ではマスクの着用をお願いいたします。
- ⑤リハーサル室での歌唱や管楽器を演奏する利用については、密が発生しない程度の間隔を確保してください。